

回 覧

しばたまち交流ひろば

ゆる.ぷら倶楽部 3月



2015.3.1 ニュースレター第56号

春の体験会を 開いてみませんか？

緊急募集

何かを始めたくなる春、体験会を開いて活動をPRし、一緒に活動する新しい仲間をつくるきっかけに！ 3, 4, 5月の体験会募集中

※多目的スペースのご利用は無料です。

※材料代を受購者に実費負担していただくこともできます。



※体験会のイメージ



過去の体験会の例として♪

アロマ体験会・ハンドマッサージ・美文字体験・消しゴムはんこづくり・和紙ちぎり絵年賀状作りなど

4月のギャリ-展示予告♪



◎皮工芸品展

(3月31日～4月12日)

革小物と布地のトートバックなど、20～30点の作品を展示します。

裁断から縫製まですべて手作りです。

普段はこうした品の修理もしています。

2月のギャラリー展示の様子

◎学校支援ボランティア活動紹介展 (1月20日～2月15日)

町内の小学校・中学校教育を、地域から支援するボランティア活動の様子を紹介しました。



◎「川をきれいにする児童図画・ポスター」展 (2月18日～3月29日)



◎町民環境課 村上琢哉さんのコメント

阿武隈川水系沿川市町村の小学校児童による、入選作品の展示です。

鮮やかな色づかいかや、切り絵を使った表現方法など、小学生らしい発想豊かな作品からは、川を大切にするという思いが伝わってきました。

みなさんにも、ぜひ水環境の大切さを見つめ直していただければ幸いです。

はなみちゃんの折り紙コーナーには、おひなさまのめい絵とめいろがあるよ♪



地域づくり支援員レポート

まちづくり推進センター（ゆる.ぷら）を拠点に地域支援活動をしている「地域づくり支援員」。その地域づくり支援員からの巡回レポートです。

1.【地域を守る！ ～夜間防犯・防災パトロール～】

近年、防犯・防災への意識が高まる中、昨年10月から夜間防犯・防災パトロール隊の巡回活動を開始した行政区があります。今回、同行取材をさせていただきましたので、その活動状況を紹介します。

第3区：第3区自主防災会 夜間防犯・防災パトロール隊 2月7日

第3区夜間防犯・防災パトロール隊は、集会所を基点に2コースを設定し巡回活動を実施しています。パトロール隊員は13名。巡回日には、防犯・防災パトロール隊と消防団の消防自動車と一緒に警鐘を鳴らし、赤色灯を点灯させながらパトロールを行います。パトロール終了後は「第3区防犯・防災ボランティア活動日誌」に内容・結果・引継ぎ事項を記入し、情報共有を図っています。

取材当日は、蛍光イエローのジャンパー・帽子・反射腕章で身支度、拍子木・懐中電灯のパトロール用具を携行したパトロール隊6名（男性3名・女性3名）に、消防団2名・地域づくり支援員2名が同行し、2コースを巡回しました。

「戸締り用心！火の用心！！」と全員で声を掛けて回っている中、地区住民の方から頂いた「ご苦労さま」の声に温かい気持ちになりました。ただ、第3区特有の坂道（急勾配）が多い約50分の道のりは、高齢メンバーには負担のかかるコースだと感じました。

ハザードマップをもとに考えた、暗く危険と思われるポイントの防犯・防災パトロール。区民の安心・安全な暮らしを願う自主防災会の活動は、とても意義がある他に模範となる活動と思います。

課題もあります。役員の渡邊さんは「メンバーの高齢化が課題。今後は様々な機会に若いメンバーを募りたい」

と語ります。地域活動の高齢化、これは多くの行政区で課題になっていると感じています。

今回の取材で、皆さんの熱い思いにとっても感動しました。地域の防犯・防災意識の広がりに期待いたします。

2.【地域の大切な宝 「子ども」の安全・安心を守る】

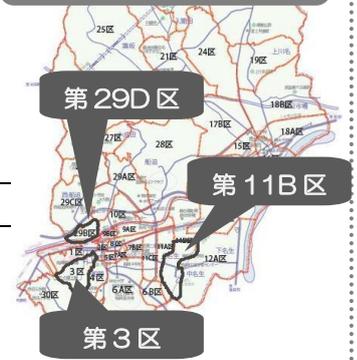
町内では、児童、生徒の登下校時の安心・安全確保のために、学校、家庭、地域が協力連携して「子ども見守り隊」などが結成されています。今回は第11B区と第29D区での活動の様子を紹介します。

第11B区：「第11B区見守りタイ」 2月3日（火）

東船岡小学校児童の下校時の見守り活動は、5つの行政区のボランティアの皆さんで行われています。その内第11B区は3班体制、3地点での見守りです。今回の取材では、第3班の受け持ち地点に、一人で当番をされていた班長の加茂正さんの元を訪れました。

午後2時30分頃から低学年児童が、声を出し合い仲良く下校が始まり、加茂さんが待つ三叉路に

今回紹介した行政区



パトロール隊は昨年10月に結成

到着すると、子どもたちから「さようなら」と大きな声。安心感を抱きながら帰宅する子ども達の姿を笑顔で見送る加茂さんが印象的でした。

交通量が多く道幅の狭い通学路では、子ども達に配慮して車の運転をしている方が多い中、一方では交通標識を無視する車も見受けられました。



子ども達とのあいさつが元気につながります

加茂さんは、「子ども達がとても元気にあいさつをしてくれるので、やり甲斐と元気が出ますし、仲良く下校している姿を見ると嬉しくなります。子ども達は会話に夢中になり、周りへの注意が散漫になることがあります。危険な場面を何度も見ているので、見守りだけでなく交通安全の指導も必要だと思います。着用している蛍光ジャンパーは犯罪・事故防止に効果があります。見守る人が年々減少して

いることが気がかりですが、出来る限り長く続けていきたいと思っています。」と話してくれました。

低学年児童の下校が一段落した後、高学年児童の下校を見守るため、厳しい寒さの中に立っておられた加茂さん、本当にお疲れ様でした。

第29D区 「朝の会」 1月27日(火)

区内からの船迫小学校・中学校に登校する児童・生徒を温かく見守ってくれているのは「朝の会」の会員14名の方々です。会員の皆さんは集会所での早朝ラジオ体操、ストレッチ、ダンス、脳活を終えた後、通学路となっている西船迫四丁目と三丁目の境界地点に7時30分頃までに移動します。女性は立ち番、男性は通学路や脇道などを巡回して子ども達を見守っています。

取材日は小雨でしたが、登校する子ども達からは大きな声であいさつがあり、「朝の会」の皆さんもこれに応じてあいさつ、激励、会話が交わされていました。

「朝の会」代表の小丸富美子さんからは「活動を始めて十数年になります。きっかけは、新入学児童のかわいい姿を見て、この子ども達を犯罪・事故から守りたい、との思いからでした。幸いにして会員の皆さんから賛同を頂き、今日まで続けることができています。今では子ども達から元気をもらってとても幸せに思う毎日です。健康が続く限り活動を続けていきたいと会員の皆さんと話しています。」とのお話がありました。

夏の暑い日も、雨や雪の日も、通学路での立ち番や巡回で「将来の地域の担い手」となる子ども達を見守って下さる皆様のご健勝をお祈りします。

なお今回は3つの行政区の活動を取り上げましたが、他の行政区でも多くの活動が行われています。地域の皆さん一人ひとりが活動することで地域の子も達が守られているのだと改めて感じました。

地域づくり支援員 本郷 良治 大内 進



会員の皆さんの健康と地域の安心・安全向上

お彼岸にかかせない牡丹餅とお萩は、その名の通り花のイメージからです。ぼた餅は、こし餡で、おはぎは、つぶ餡で作るそうです。秋の小豆は収穫したてで皮が柔らかいので皮ごとつぶ餡とし、収穫から日が経って皮が固くなる春には、皮を取り去ってこし餡としたとも言われています。

お供えしたら、お好きな方を召し上げれ♪

ゆる.ぷらスタッフより

(お問合せ先)

■しばたまち交流ひろば ゆる.ぷら (イオンタウン柴田内)

電話 86-3631 FAX 86-3641

eメール yurupura@town.shibata.miyagi.jp

開館時間 10:00~18:00

<2月の休館日:2日、9日、16日、23日>

■柴田町まちづくり政策課

電話 54-2111 FAX 55-4172

